



日本共産党・前都議会議員

# そねはじめレポート

2012年 9月 12日発行 第 55 号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135

Fax: 3906-3225

## 「防災」の名で住民反対の道路押しつけるな

のの山区議  
代表質問

街頭で訴えるそね前都議と池内さおり予定候補



### 高い医療介護保険料値下げを

#### ◆国政混乱から区民守れ

9月11日開会の北区議会で、共産党はのの山区議が代表質問に立ち、国政の大混乱の中でも区民利益の立場で「原発ゼロ」をめざし、消費税増税と社会保障改悪にきっぱり立ち向かうよう求めました。

#### ◆「構造改革」と縁切り、公共の福祉充実を

また北区として「構造改革」路線の5か年プランを見直し、区職員の委託やパート・低賃金化、区民保養所「はこね荘」の休館・廃止などコストダウンに走らぬよう求めました。

革新懇で、のの山区議とあいさつするそね前都議



大幅値上げで苦情が殺到している介護保険料や国保料・後期高齢保険料の引き下げ、公的保育守り、株式会社任せにしないよう要望しました。

#### ◆災害から守る第一は命

地震対策の見直しが進む中で、都が「火災の延焼防止」を理由に六〇年以上凍結されていた都市計画道路を強引に進めようとしており、住民意見を尊重するよう求めましたが、区は、地元説明会を約束しました。災害から命を優先に守る立場で、百ミリ豪雨の水害対策を求め、区は水害か所近くの雨水貯留施設を答えました。

## 消費増税・原発にNO！草の根でたたかう政党

### ■そね・池内 街頭から連日宣伝

共産党などの消費増税反対の野田首相問責決議に自民党まで相乗りしみごとに可決。

国会は空転したまま閉会し、秋の臨時国会での解散・総選挙が濃厚となりました。

2大政党が党首選挙ははじめ政権や議席に汲々とする姿に国民の怒りは爆発寸前です。

そねはじめ前都議と池内さおり衆院予定候補は、今こそ共産党の躍進が政治を変える最大の道だと、連日街頭から訴えています。

### ■浮き草の政党にはまかせられない

池内予定候補は、浮き草のような2大政党の党首に誰がなっても政治は良くなれないと訴え、くらしを守るため区民の中で奮闘する共産党の姿をアピールしました。

### ■タカ派の「決められる政治」にもノーを

そね前都議は、国民の閉塞感をねらった

二つの強硬路線に警戒を呼びかけました。

第1は「何でも民営化」の復活です。

社会保険病院の公的存続から再び売却の動きが強まり、被災地の宮城厚生年金病院が突然売却されました。北社保病院も警戒が必要です。

第2は、タカ派外交や開発・原発などをごり押しする強権政治の流れです。石原都政は西ヶ原や赤羽西、十条で防災を口実に半世紀も凍結中の道路計画を急浮上させ強引に動き出しています。

住民への強引な開発や民営化のおしつけを許さず頑張ります。

地元団地の子ども祭りでも水風船を膨らませるそねはじめ前都議



# あらゆる国民要求を共に闘う！

- \* 9/3午後、北区年金者組合の切り絵サークルに久びさに参加。次の発表は10・23年金者組合大会になります。
- \* 9/4朝、上中里駅で本田区議と宣伝。近くの無量寺と墓地を立ち退かせる道路計画が浮上した話に通勤者も驚き顔。
- \* その日夜に革新都政をつくる会主催で「東京の防災に5つの提言」を発表。被害想定の変更で東部下町の危険度が下がり山の手地区と逆転する珍現象。都民本位の被害予測と対策が今こそ必要。(右図)
- \* 9/5朝は、北赤羽駅で永井区議と地域支部の皆さんとともに、北社保病院の新たな売却の危険とたたかう決意を訴え。
- \* 9/4・5・6午後の時間に十条・王子本町・西ヶ原などを街宣。励ましの拍手と差し入れが！

- \* 9/7猛暑の中、浮間・赤北などで池内さおりと街頭から訴え。下校する子どもたちが声をかけてくれました。
- \* その日の夕刻から、都議団の9月定例議会(19日開会・25日代表質問)に向けた懇談会。間もなく都が決める地域防災計画が焦点。防災口実にした大型公共事業のバラマキを厳しくチェックしなければ。



# そねはじめ奮闘記

- \* 9/8午後4時から王子5丁目団地スーパー前での宣伝。宇都宮区議が12日の本会議質問に傍聴を呼びかけました。
- \* 9/9赤羽北後援会と池内さおりと共に西ヶ原の防災センター・古河庭園を見学。暑さのため、みなさん少しぐったり気味でした。
- \* 9/9八百川区議地域の集いで千島・竹島・尖閣問題で党の正確な態度を報告し質疑交流。
- \* 9/10午後にスポーツの森の集会所で桐ヶ丘団地建替えのアセスに向け学習と交流の会議。
- \* 9/1118時半より「子育て新システム」とは何かの学習と党を語る会。民・自・公3党合意で審議抜きに通してしまった保育の大改悪が浮き彫りに。

## そねはじめきり絵の世界《NO.3》 年に一度の夫婦旅行を切り絵に・・・

15年ほど前までは子育てに忙しく、成長する娘二人の姿を切り絵にしていたのですが、子どもたちが写真に写りがらくなり、またやっと年に一度、夫婦で旅行する機会が持てるようになって、その旅先の風景を切り絵にするようになりました。

最初は切り絵のモデルになるのを渋っていたかみさんも文句を言わなくなり、そのせいか、だんだん本人と似なくなってきたのは気のせいでしょうか。

旅先で美しい風景に出会うと、「ここなら切り絵になりそうだ」と見分けがつくようになってきました。

下は07年山形の藤沢周平「蝉しぐれ」映画化のセットにて



上は、03年最初に作成したかみさんとの旅行・西伊豆風景。下は翌年旅した焼物のまち九州・伊万里。

